

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会保障 a		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
手塚 恵	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問など受付		
授業の目的・概要	<p><目的> 社会保障の理念や歴史的展開、仕組みやその内容、現代社会における社会保障の位置づけについて具体的に理解することを目的とする。</p> <p><概要> 社会動向に対する現状把握をもとに、現代社会における社会保障のあり方について課題認識し、現在の社会保障がどのような形で展開されているかについて理解と考察を深められるよう授業を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会保障の仕組みはその時々々の社会動向と大きく関連しているの、日頃から幅広くアンテナを張ってほしい。授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用し、授業内容の理解を深めてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座7 社会保障 第2版/編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会保障の基盤となっている現代社会の動向を理解し、説明することができる。		HSU(1)(2)(3)、	HC(1)(2)(3)	
②	社会保障の概念や対象、理念について理解し、説明することができる。		HSU(1)(2)(3)	HC(1)(2)(3)	
③	社会保障制度の歴史的展開について理解し、説明することができる。		HSU(1)(2)(3)	HC(1)(2)(3)	
④	社会保障の財政について理解し、説明することができる。		HSU(2)(5)	HC(2)(3)	
⑤	社会保険、社会扶助、民間保険の関係について理解し、説明することができる。		HSU(2)(5)	HC(2)(3)	
⑥	多様な価値観・考え方を理解し、説明できる。		HSU(6)	HC(3)(4)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	内容の確認を行う。		2
2	[現代社会と社会保障①] 人口動態の変化、経済環境の変化について学ぶ。	演習・グループワーク	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
3	[現代社会と社会保障②] 労働環境の変化について学ぶ。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
4	[社会保障の概念や対象およびその理念①] 社会保障の概念と範囲について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
5	[社会保障の概念や対象およびその理念②] 社会保障の役割と意義について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
6	[社会保障の概念や対象およびその理念③] 社会保障の理念、対象について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
7	[社会保障制度の展開①] 世界の救済対策と社会保障制度の展開について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
8	[社会保障制度の展開②] 日本の社会保障制度の展開について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
9	[社会保障の財政①] 社会保障の財源について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		3
10	[社会保障の財政②] 社会保障の支出、国民負担率について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		3
11	[社会保障の財政③] 社会保障と経済との関係について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		4
12	[社会保険・社会扶助・民間保険の関係①] 保険と扶助の考え方について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		4
13	[社会保険・社会扶助・民間保険の関係②] 社会保険と社会扶助の考え方について学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		4
14	[社会保険・社会扶助・民間保険の関係③] 社会保険と民間保険の違いについて学ぶ。	講義・ディスカッション	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	0	0	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。 試験範囲は講義中に用いた教科書・配付資料から中心に出題し、理解度を問う。					試験結果を掲示する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義中に理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。 また、授業後のリアクションペーパー時に通知した設問への回答も評価に加える。					講義内で適宜フィードバックする。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験	社会福祉士として高齢者分野と医療法人で 22 年の実践経験。							
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した社会保障に関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野からソーシャルワークの素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。 ・生成 AI（ChatGPT 等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 							